

平成 22 年度

朝日町教育委員会事務事業点検・評価報告書

(平成 21 年度分)

朝日町教育委員会

I. 朝日町教育委員会事務事業の点検・評価について	1
1. 制度の概要及び目的	1
2. 点検・評価の対象事業	1
3. 点検・評価の方法	1
4. 学識経験者の知見の活用	1
II. 平成 21 年度教育委員会活動状況	2
1. 教育委員の選任状況	2
2. 教育委員会会議開催状況	2
3. 教育委員学校訪問	4
4. 各種会議、大会、研修会への参加	4
III. 施策の体系	5
IV. 外部評価委員の意見	6
1. 教育委員会の活動についての意見	6
2. 事務事業の点検・評価についての意見	6
V. 点検・評価対象事業一覧	7
点検評価の結果（事務事業点検・評価調書）	9

I. 朝日町教育委員会事務事業の点検・評価について

1. 制度の概要及び目的

平成 19 年 6 月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正（平成 20 年 4 月 1 日施行）され、教育委員会は毎年その権限に属する事務の管理及び執行状況について、自ら点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに公表しなければならないこととなりました。また、この点検・評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされています。

この法律の改正を受け、朝日町教育委員会では、効率的な教育行政の推進に資するとともに、町民に対する説明責任を果たすため、平成 21 年度に行った事務事業について、3 名の外部評価委員（朝日町教育事務評価委員）の方々の意見をいただきながら点検・評価を実施するとともに、その結果を報告書としてまとめました。

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 27 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 3 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2. 点検・評価の対象事業

点検・評価は、平成 21 年度に実施した朝日町教育委員会所管の 43 事務事業のうち、平成 20 年度繰越明許 6 事業及び平成 22 年度へ繰り越した 1 事業を除く、36 事務事業を対象に実施しています。

3. 点検・評価の方法

各事業について、「必要性」及び「効率性・有効性」の観点から分析評価したうえで、今後の方向性として「拡充」、「継続」、「縮小」、「見直し」及び「休廃止」に区分して明らかにしました。その内容は、事業ごとに「事務事業点検・評価書」としてまとめております。

4. 学識経験者の知見の活用

教育委員会が行った点検・評価についてその客観性を確保するため、3 名の学識経験者を外部評価委員（朝日町教育事務評価委員）として委嘱し、点検・評価の内容についてご意見をいただきました。

朝日町教育事務評価委員

氏 名	役 職 名 等
真 木 茜 雄	山形大学大学院教育実践研究科 准教授
多 田 秀 人	有識者（寒河江市立柴橋小学校長）
西 澤 敬 子	有識者（ボランティア活動家）

Ⅱ. 平成 21 年度教育委員会活動状況

1. 教育委員の選任状況

職	氏 名	職 業	備 考
委員長	小林 道和		朝日町大字四ノ沢 913
委員(職務代理者)	登坂 高典	僧 侶	朝日町大字三中 244
委 員	柴田 泰子	会社役員	朝日町大字四ノ沢 186-2
委 員	遠藤 清実	農 業	朝日町大字玉ノ井丙 255 H21.12.19 まで
委 員	堀 浩一	会社員	朝日町大字中沢 306 H21.12.20 から
教育長	安藤 昭郎		朝日町大字宮宿 807-1

2. 教育委員会会議開催状況

開催日		議案並びに主な報告・協議案件
平成 21 年 4 月 27 日	議案	議第 7 号 平成 21 年度就学指導委員会委員の委嘱について
	報告	1. 教育長委任事項報告(日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ①平成 21 年度教育委員会職員事務分担表について ②平成 21 年度朝日町校長会活動方針及び研修課題等について ③平成 21 年度教育関係予算・平成 20 年度繰越明許について ④西五百川小学校耐震診断結果について ⑤町民体育館窓ガラス改修工事について ⑥平成 21 年度学習生活指導補助員・介護員について
	協議	1. 朝日町立西五百川小学校・宮宿小学校体育館の改築について
平成 21 年 5 月 22 日	議案	議第 8 号 平成 21 年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について
	報告	1. 教育長委任事項報告 (日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ①寄付採納について ②N R T 学力検査知能検査結果について ③学校訪問日程、各種体育関係結果の報告について
	協議	1. 朝日町語学指導等に従事する外国人の給与及び旅費に関する条例の設定について 2. 学校整備計画について (小学校体育館建設)
平成 21 年 6 月 30 日	報告	1. 教育長委任事項報告(日程的な事項・当面の事項) 2. 報告事項 ①教科書採択の手順について ②放課後や土曜日の過ごし方について
平成 21 年 7 月 27 日	議案	議第 9 号 平成 22 年度使用教科用図書採択について 議第 10 号 平成 21 年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について
	報告	1. 教育長委任事項(日程的な事項・当面の事項) 2. 報告事項 ①学力テスト各校の分析結果について ②町旧小学校校舍等利活用について
平成 21 年 8 月 21 日	報告	1. 教育長委任事項 (日程的な事項・当面の事項) 2. 報告事項

		①平成 21 年度朝日町就学指導委員会事業計画について ②新型インフルエンザとその対応について ③西部公民館並びに北部公民館機能の見直しについて
	協議	1. 朝日町立宮宿小学校・西五百川小学校体育館の安全対策について(案)
平成 21 年 9 月 29 日	報告	1. 教育長委任事項(日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ①新型インフルエンザ罹患状況とその対策について ②学校整備事業、社会教育施設整備事業について
	協議	1. 教育行政評価一数值でみる教育行政の実態一
平成 21 年 10 月 27 日	報告	1. 教育長委任事項 (日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ①全国学力・学習状況調査の結果について ②学校施設整備について
	協議	1. 宮宿小学校並び西五百川小学校体育館の安全対策について
平成 21 年 11 月 30 日	報告	1. 教育長委任事項の報告 (日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ①「朝日ふれあいスポーツクラブ」設立について
	協議	1. 小学校体育館建設にかかわる最終要望書(案)について
平成 21 年 12 月 21 日	議案	議第 11 号 朝日町教育委員会委員の議席の指定について 議第 12 号 平成 21 年度要保護及び準要保護児童生徒の認定区分の変更について
	報告	1. 教育長委任事項報告 (日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ①小学校スキー記録会(第 1 回)について <朝日町長 鈴木浩幸氏に「体育館の安全対策について」要望書提出>
平成 22 年 1 月 27 日	議案	議第 1 号 平成 22 年度特別支援教育等が必要な児童生徒の決定について
	報告	1. 教育長委任事項報告(日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ①平成 22 年度学校教育の重点について ②平成 22 年度スクールバスの運行及び小・中学校校務用パソコンの購入について ③学校跡地の利活用、放課後児童クラブ等について
平成 22 年 2 月 23 日	議案	議第 2 号 朝日町教育功労者表彰規則を廃止する規則の制定について
	報告	1. 教育長委任事項報告(日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ①宮宿小学校屋内運動場建設について ②西五百川小学校・朝日中学校耐震補強工事及び学校情報通信環境整備事業について ③平成 22 年度当初予算及び地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業について
平成 22 年 3 月 12 日	議案	議第 3 号 平成 22 年度朝日町立小・中学校教職員人事異動内申について
平成 22 年 3 月 30 日	議案	議第 4 号 平成 22 年度用保護準要保護児童生徒の認定について 議第 5 号 平成 22 年度朝日町立小中学校の校医等の委嘱について 議第 6 号 朝日町教育研究所立木研修センター管理運営規則を廃止する

		規則の制定について 議第 7 号 朝日町スクールバス設置及び運行に関する規則の一部を改正 する規則の制定について
	報告	1. 教育長委任事項の報告(日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ①町職員の人事異動について ②平成 21 年度朝日中学校卒業生の進路先について ③朝日中学校生徒会による「ハイチ地震に伴う義援金」について ④平成 22 年度新任教職員及び学級編成について
	協議	1. 西村山教育委員大会（朝日大会）の持ち方について

3. 教育委員学校訪問

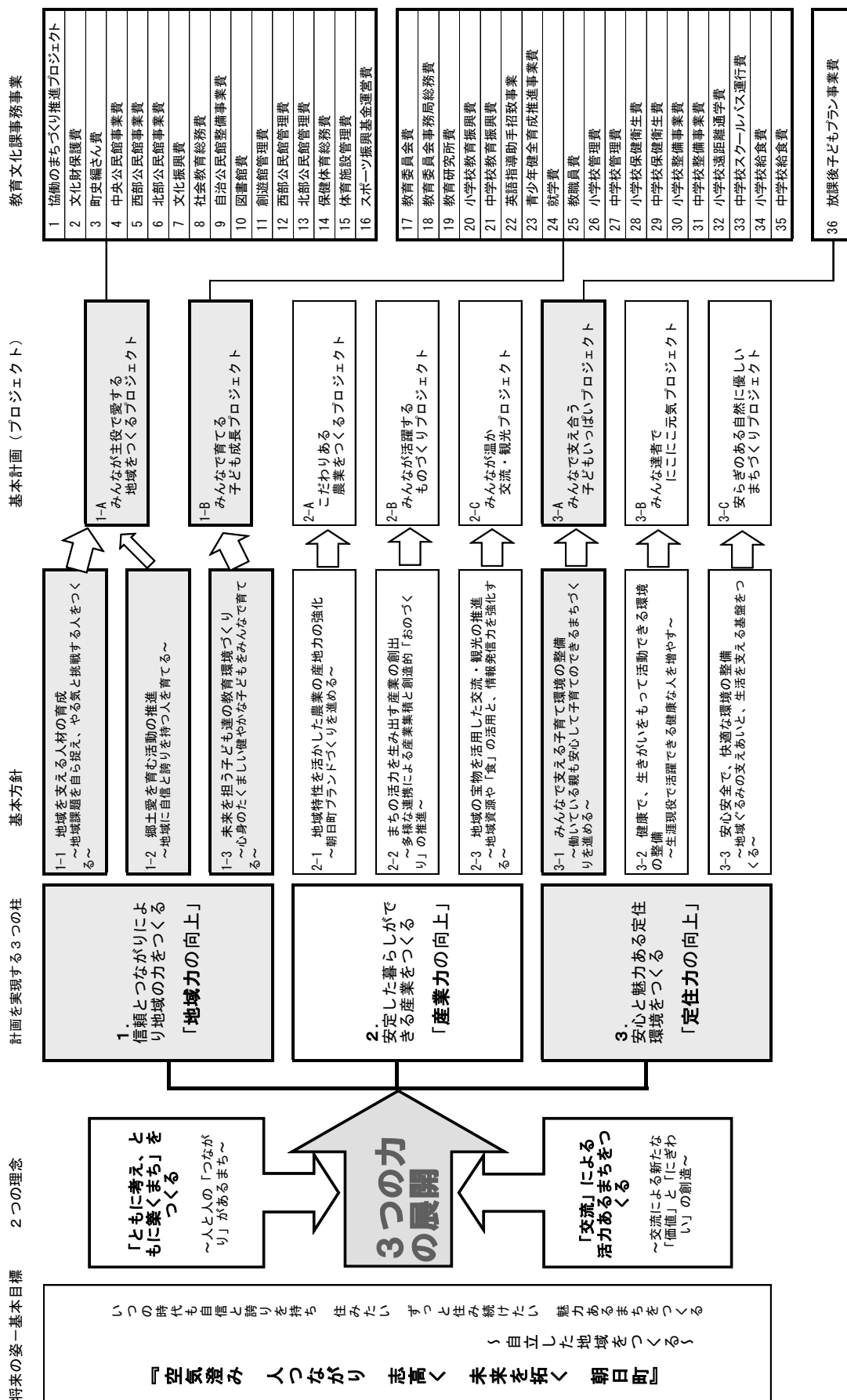
年 月 日	実 施 校	内 容
平成 21 年 6 月 3 日	朝日町立朝日中学校	①学校経営概要説明
平成 21 年 6 月 16 日	朝日町立西五百川小学校	②授業参観並びに校舎等巡視
平成 21 年 6 月 22 日	朝日町立大谷小学校	③学校職員並びに教育委員会紹介
平成 21 年 6 月 24 日	朝日町立宮宿小学校	④懇談

4. 各種会議、大会、研修会への参加

年 月 日	会議、大会等名	場 所	出 席 者
平成 21 年 4 月 1 日	町辞令交付式	開発センター	委員長
平成 21 年 4 月 1 日	朝日町教職員辞令交付式	創遊館	全員
平成 21 年 4 月 7 日	各小中学校入学式	各小中学校	全員
平成 21 年 4 月 24 日	校長・教頭歓送迎会		全員
平成 21 年 4 月 29 日	成人式	創遊館	全員
平成 21 年 5 月 20 日	小学校陸上競技記録会	西小グラウンド	全員
平成 21 年 6 月 5 日	西五百川小学校相撲大会	西小校庭	割り当て
平成 21 年 7 月 10 日	小学校水泳競技記録会	町民プール	全員
平成 21 年 7 月 24 日	西村山教育懇談会	左沢	全員
平成 21 年 7 月 29 日	青少年健全育成町民大会	創遊館	
平成 21 年 7 月 28 日	教育研究所教育講演会	創遊館	
平成 21 年 9 月 2 日	山形県市町村教育委員大会	大石田	全員
平成 21 年 9 月 5 日 ・ 6 日	各小学校運動会	各小学校	割り当て
平成 21 年 10 月 11 日	アップル駅伝競走大会（新型インフルエンザ罹患患者多く中止）		
平成 21 年 11 月 3 日	芸術文化祭	創遊館	
平成 21 年 12 月 6 日	女性まつり	創遊館	
平成 21 年 12 月 19 日	朝日自然観スキー場開き	自然観スキー場	委員長
平成 22 年 1 月 4 日	町辞令交付式	開発センター	委員長
平成 22 年 2 月 2 日	小学校スキー記録会	自然観スキー場	全員
平成 22 年 2 月 28 日	生涯学習大会	創遊館	
平成 22 年 3 月 16 日	朝日中学校卒業式	朝日中学校	全員
平成 22 年 3 月 18 日	各小学校卒業式	各小学校	割り当て

Ⅲ. 施策の体系

第五次総合発展計画 基本計画の体系



IV. 外部評価委員の意見

1. 教育委員会の活動についての意見

毎月の定例会や臨時会の開催をはじめ、研修会への参加、全学校の訪問、学校事業や生涯学習事業への参加等により、朝日町の教育の実態を捉え、問題解決に取り組んでおられます。今後とも学校教育や生涯学習の充実が図られるよう、さらなる教育委員会の活動を期待します。

2. 事務事業の点検・評価についての意見

(1) 総括

概ね適切な評価をされていますが、次の項目について検討をいただき、さらに創意工夫を重ねて、効率的・有効的な事業推進にあたられたい。

(2) 事業の点検・評価についての意見

施策の体系により事務事業点検・評価調査がつけられているが、事業は各係単位で執行されていることから、全体、生涯学習関係及び学校教育関係の区分で意見を記した。

【全 体】

- ① 「適切に」と「概ね」、「十分」と「ある程度」の評価基準の線引きについて検討をしていただきたい。
- ② 類似した事務事業や項目が見受けられる。それぞれの評価とならないように、総体的に事務事業を点検する必要がある。
- ③ 外部から有意義な指摘があっても、内部にその指摘を受け止める意思、能力、資質、意欲などがなければ意味をなさない。事業遂行段階や事後における意欲的・積極的な意識改革が大事である。外部評価は内部評価の充実があって始めて、機能し意味を持つものであるので、今後も誠心誠意努力されたい。
- ④ 事業自体の意義は高いものがほとんどあり、限られた予算の中で新たな事業を組むことは大変難しいことと思われるが、朝日町教育委員会一丸となって事業を進められたい。

【生涯学習関係】

- ① 中央公民館と地区公民館の区分を明確にし、町全体の事業が見えるよう心掛けたい。青少年、成人、男性対象の事業について、有効な対策を講じられたい。
- ② 同一事業に複数の事務事業から支出がされている。事務事業の統廃合や事業の住み分けについて検討されたい。
- ③ 学校図書も含め、町立図書館の在り方について、蔵書冊数よりも新しい図書の購入配置など、質の高い図書運営を進められたい。

【学校教育関係】

- ① 廃校舎といえども町にとっては貴重な財産である。利活用に当たっては、町の活性化が図られるよう期待したい。
- ② 校務用パソコンが学校教職員のすべての方に配置されたことは大変素晴らしいことである。パソコンの一番の利点は、業務の削減にあります。パソコンを利用する教職員に対してその利便性を理解していただき、活用をはかっていただきたい。便利の裏には、セキュリティの問題があり、情報漏えいやデータの流出には細心の注意を払っていただきたい。
- ③ 全国的に学校納付金の未納や学校に対する過大な要求がある。教員は多大な労力と時間を要しており、本業である学業や児童生徒の指導に専念できるよう配慮されたい。
- ④ 学習指導要領の改訂に伴う教材の確保と特色ある学校づくりのため、学校振興費の予算の確保について配慮されたい。

V. 点検・評価対象事業一覧

区分	事務事業名	担当課・係	整理番号
みんなが主役で愛する地域をつくるプロジェクト	協働のまちづくり推進プロジェクト	教育文化課生涯学習係	1
	文化財保護費	教育文化課生涯学習係	2
	町史編さん費	教育文化課生涯学習係	3
	中央公民館事業費	教育文化課生涯学習係	4
	西部公民館事業費	教育文化課西部公民館	5
	北部公民館事業費	教育文化課北部公民館	6
	文化振興費	教育文化課生涯学習係	7
	社会教育総務費	教育文化課生涯学習係	8
	自治公民館整備事業費	教育文化課生涯学習係	9
	図書館費	教育文化課生涯学習係	10
	創遊館管理費	教育文化課生涯学習係	11
	西部公民館管理費	教育文化課西部公民館	12
	北部公民館管理費	教育文化課北部公民館	13
	保健体育総務費	教育文化課生涯学習係	14
	体育施設管理費	教育文化課生涯学習係	15
	スポーツ振興基金運営費	教育文化課生涯学習係	16
みんなで育てる子ども成長プロジェクト	教育委員会費	教育文化課学校教育係	17
	教育委員会事務局総務費	教育文化課学校教育係	18
	教育研究所費	教育文化課学校教育係	19
	小学校教育振興費	教育文化課学校教育係	20
	中学校教育振興費	教育文化課学校教育係	21
	英語指導助手招致事業	教育文化課学校教育係	22
	青少年健全育成推進事業費	教育文化課生涯学習係	23
	就学費	教育文化課学校教育係	24
	教職員費	教育文化課学校教育係	25
	小学校管理費	教育文化課学校教育係	26
	中学校管理費	教育文化課学校教育係	27
	小学校保健衛生費	教育文化課学校教育係	28
	中学校保健衛生費	教育文化課学校教育係	29
	小学校整備事業費	教育文化課学校教育係	30
	中学校整備事業費	教育文化課学校教育係	31
	小学校遠距離通学費	教育文化課学校教育係	32
	中学校スクールバス運行費	教育文化課学校教育係	33
	小学校給食費	教育文化課学校教育係	34
	中学校給食費	教育文化課学校教育係	35
みんなで支え合う子どもいっぱいプロジェクト			
	放課後子どもプラン事業費	教育文化課生涯学習係	36

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	協働のまちづくり推進プロジェクト
-------	------------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	02	中央公民館費

2. 実施計画との関係

柱	地域力	基本方針	地域を支える人材の育成
施策コード	1-A-1-1 地域を支えるリーダー、NPO等の団体育成		
プロジェクト	みんなが主役で愛する地域をつくるプロジェクト		
施策の目的	自主的に活動する人材、団体を育成し、行政とともに地域づくり、まちづくりを推進し、町民生活に寄与する。		

3. 事業の実施状況

・あさひ未来塾はH19～21まで3ヵ年で実施。4PJが各々目標を探しながら研修、実践を重ねた。各PJは次のとおり。 ①助け合いのまちづくりPJ 塾生13人、開催回数13回、延べ参加者数74人 高齢者を対象にしたばかばかサロンの試行を通し、団体の自立に向け準備中。 ②まちづくりコーディネーター育成PJ 塾生12人、開催回数17回、延べ参加者数67人 地域づくりの企画や調整を体験する実践学習として、NEWマップ制作（デザイン完成H22.4月） ③もてなしの心をつなぐ産業交流PJ 塾生11人、開催回数15回、延べ参加者数49人 季節や地域ごとに隠れた魅力を紹介するマップ「ツチャこい旅」を作成、朝日町を東西南北のエリアに分け4種類 ④田舎暮らしPJ 塾生17人、開催回数8回、延べ参加者数38人 朝日町の田舎暮らしの魅力などを紹介するブログ「詩テキナ朝日ノ物語」を開設	
---	--

4. 予算額・決算額

(単位：千円 千円未満切上げ)

当初予算額	2,000	補正予算額	-900	合計	1,100	決算額	798
-------	-------	-------	------	----	-------	-----	-----

5. 事業の評価

評価の視点(評価項目)		評価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民のニーズに対応しているか	○ 適切に対応している	町の重点施策として町民の自主的な学習活動を支援し、協働のまちづくりを目指すために行う。多くの塾生は町づくりへの関心を持って学習に取り組んだ。この気持ちを大切に活かしていきたい。
		概ね対応できている	
		ほとんど対応できていない	
有効性	投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか	十分効果が得られている	I期3年のけじめの年。4つのPJは、それぞれの活動を展開し3月に成果発表会を開催した。活動を継続発展させていこうとするPJもあり一定の成果を上げたが、当初目標にあった団体の設立までには至らなかった。
		○ ある程度の効果が得られている	
		効果があまり得られていない	

6. 今後の対応策

方向性	拡充	継続	縮小	○ 見直し	休廃止
今後の対応	人材育成事業は第1期3年間が終了した。今後も町の重点施策と位置付け、1期を総括しながら有識者の指導を頂き新たな人材育成事業に取り組んでいく。				

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	文化財保護費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	01	社会教育総務費

2. 実施計画との関係

柱	地域力	基本方針	郷土愛を育む活動の推進
施策コード	1-A-2-1 一人一人が町を好きになる取組み		
プロジェクト	みんなが主役で愛する地域をつくるプロジェクト		
施策の目的	町の文化財を掘り起こし、地域の宝として、守り伝える態勢を整え活用を図る。		

3. 事業の実施状況

・文化財保護委員 5 人 ・町文化財保護委員会 (2 回) 6/30、3/17 (8/17 研修 大沼大行院の古文書確認、神社俳額、大沼の浮島の現況確認) ・県文化財保護指導委員巡回指導 9/18 大沼の浮島、新宿薬師如来立像、10/9 佐竹家住宅、豊龍神社の大スギ ・大沼の浮島「鳥鵜橋」改修工事実施設計 ・事業補助(佐竹家住宅修繕、水口十一面観音堂補修、ハツ沼角田流獅子踊り伝承補助) ・旧三分校管理委託 (草刈り、雪下ろし等管理) ・国指定天然記念物カモシカ死体処理 2 頭 ・文化財の企画展示 (4 月浮嶋稲荷神社俳額展)
--

4. 予算額・決算額

(単位：千円 千円未満切上げ)

当初予算額	1,527	補正予算額	-55	合計	1,472	決算額	803
-------	-------	-------	-----	----	-------	-----	-----

きめ細やかな臨時交付金事業分 600 千円を平成 22 年度へ繰越明許

5. 事業の評価

評価の視点 (評価項目)		評 価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民のニーズに対応しているか	○ 適切に対応している	文化財所有者・保持者が保存保護していくための支援を行う。私たちの住む地域の大切な宝として活用を図りながら保存継承していく。
		概ね対応できている	
		ほとんど対応できていない	
有効性	投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか	○ 十分効果が得られている	所有者への指導や管理費の補助、管理委託により文化財の適切な管理の支援と啓発普及活動を実施している。
		ある程度の効果が得られている	
		効果があまり得られていない	

6. 今後の対応策

方向性	○ 拡充 継続 縮小 見直し 休廃止
今後の対応	文化財の実態を再調査するとともに長期計画を策定していく。町史編さん専門員 2 人に文化財調査員を兼務し、文化財の調査も含めた活動なども進める。 大沼の浮島は、国庫補助を受けながら改修事業を進める。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	町史編さん費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	01	社会教育総務費

2. 実施計画との関係

柱	地域力	基本方針	郷土愛を育む活動の推進
施策コード	1-A-2-1 一人一人が町を好きになる取組み		
プロジェクト	みんなが主役で愛する地域をつくるプロジェクト		
施策の目的	町の歴史を正しく理解し、後世に伝える。		

3. 事業の実施状況

・町史編さん専門員2人 ・朝日町史下巻の発刊(700部) ・広報あさひまち8月号特集「天地人」から見る朝日連峰の歴史的魅力・直江兼続が開削した「朝日軍道」を掲載
--

4. 予算額・決算額

(単位：千円 千円未満切上げ)

当初予算額	4,714	補正予算額	-100	合計	4,614	決算額	4,368
-------	-------	-------	------	----	-------	-----	-------

5. 事業の評価

評価の視点(評価項目)		評 価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民のニーズに対応しているか	○ 適切に対応している	先人の歩んできた道を学び、これからのまちづくりや郷土を愛する心を育てるため、町の歴史を記録保存し生かしていく。
		概ね対応できている	
		ほとんど対応できていない	
有効性	投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか	○ 十分効果が得られている	朝日町史上巻(H19)に続き、下巻を発行し完成した。町の歴史を記録保存し、後世に伝えるものができた。
		ある程度の効果が得られている	
		効果があまり得られていない	

6. 今後の対応策

方向性	拡充 ○ 継続 縮小 見直し 休廃止
今後の対応	朝日町史(上下巻)の販売促進や各種事業等により、町の歴史を町民に知って貰うと共に、未だに埋没している歴史資料の発見や調査解読などを進め、町の歴史を更に明らかにしていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	中央公民館事業費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	02	中央公民館費

2. 実施計画との関係

柱	地域力	基本方針	地域を支える人材の育成
施策コード	1-A-2-1 一人一人が町を好きになる取組み		
プロジェクト	みんなが主役で愛する地域をつくるプロジェクト		
施策の目的	町民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。		

3. 事業の実施状況

- 中央・中部公民館運営審議会(委員5人)、会議2回
- 中央公民館事業
- ・家庭教育事業支援(朝日中学校7月22日372人、宮宿小学校2月20日200人、大谷小学校12月3日80人)
 - ・青少年教育 寺子屋事業(お寺の丸ごと一日体験 7月3日～5日2泊3日:14人)
成人式 4月29日 倉遊館 86人
 - ・中高生ボランティア育成
中学生ボランティア「きらり」23人
プルタブ回収、さゆり保育園保育補助、ふれあい 庄夏祭り、お寺の丸ごと一日体験塾・海の子山の子事業協力、YYボランティアセミナー参加
高校生ボランティア「JOKER」7人
プルタブ回収、お寺の丸ごと一日体験塾協力、24時間テレビ街頭募金、ふれあい 庄夏祭り
 - ・女性教育
女性文化教室 11教室 261人 年間各10回
女性まつり(女性文化教室発表会)(12月6日 倉遊館)
女性リーダー研修会 6月14日80人、いきいき学習会1月24日100人
 - ・成人教育
子ども会育成会 育成委員研修会 3月25日 倉遊館 28人参加
生涯学習推進大会 2月28日 倉遊館 350人参加
英会話教室 月2回・受講者22人(講師:ALT モラ・マーティ)
 - ・高齢者教育(各大学代表者会議3月10日 北部公民館)
 - ・視聴覚教育 西村山視聴覚教育協議会視聴覚教材巡回貸出 学校2回、公民館2回
同 16ミッドフィルム巡回映写(さゆり・わかば・ふたば保育園、明鏡荘)
 - ・自治公民館
館長主事等研修9月18日 鶴岡市 参加者46人、館報づくり奨励16館発行、自治公民館活動支援5館
- 中部公民館事業
- ・家庭教育 さゆり家庭教育学級 4回 327人
 - ・青少年教育 ふしぎ発見隊 1回 33人
 - ・自治公民館 館長主事等研修7月28日 39人参加
 - ・高齢者教育 寿大学 4回 470人
 - ・子ども会育成会 綱引き大会 3月21日 町民体育館 16チーム240人参加

4. 予算額・決算額

(単位：千円 千円未満切上げ)

当初予算額	2,070	補正予算額		合計	2,070	決算額	1,352
-------	-------	-------	--	----	-------	-----	-------

5. 事業の評価

評価の視点(評価項目)		評 価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民のニーズに対応しているか	○ 適切に対応している	世代毎に必要な学習や時代の要請にあう事業を展開し、町民のニーズも把握し、地域の特性を活かしながら目的達成に向けた取り組みを行う。
		概ね対応できている	
		ほとんど対応できていない	
有効性 効率性	投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか	十分効果が得られている	英会話教室、オペラ講座、お寺のまるごと一日体験塾、女性文化講座、ボランティア育成など地域の人材や特性を活かした取り組みができた。しかし、お寺の一日体験塾、女性文化教室の参加者が減少傾向にあり、事業の見直しが必要である。
		○ ある程度の効果が得られている	
		効果があまり得られていない	

6. 今後の対応策

方向性	拡充 ○ 継続 縮小 見直し 休廃止
今後の対応	各世代に必要なもの、時代にあった魅力のある事業となるよう創意と工夫に努めていく。 特に20代～50代を対象とする事業を充実させる必要がある。 中央公民館と地区公民館の役割、在り方等について検討する。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課西部公民館

事務事業名	西部公民館事業費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	03	西部公民館費

2. 実施計画との関係

柱	地域力	基本方針	地域を支える人材の育成
施策コード	1-A-2-1 一人一人が町を好きになる取組み		
プロジェクト	みんなが主役で愛する地域をつくるプロジェクト		
施策の目的	町民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。		

3. 事業の実施状況

・公民館運営審議会(委員5人)、会議1回 ・ふたば家庭教育学級 4回129人 ・いもがわ少年教室 4回59人 ・子ども会交流事業2回193人 ・青年教室 4回109人 ・楽笑楽生こうざ(女性) 5回114人 ・成人趣味講座 3回43人 ・高齢者「高砂大学」 5回246人 ・自治公民館長主事研修会 1回34人 ・地区スポーツフェスティバル 西部公民館周辺 643人参加 ソフトボール、グラウンドゴルフ、インディアカ、ソフトバレーボール、輪投げ ・地区グラウンドゴルフ大会 1回42人 ・第45回町芸術文化祭展示発表会 1回171人(茶席主催者及び出展者) ・真墨会書き初め展 1回24人(出展者) ・「西部公民館だより」発行 5回 ・西部区長会や子ども会育成協議会など8団体の事務局担当
--

4. 予算額・決算額

(単位：千円 千円未満切上げ)

当初予算額	449	補正予算額	-50	合計	399	決算額	319
-------	-----	-------	-----	----	-----	-----	-----

5. 事業の評価

評価の視点(評価項目)		評価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民のニーズに対応しているか	○ 適切に対応している	家庭教育学級や青年教室など、受講者による運営委員会を設けて講座内容の計画を話し合い実施した。
		概ね対応できている	
		ほとんど対応できていない	
有効性	投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか	十分効果が得られている	青年教室や「楽笑楽生こうざ」など、創作と参加者同士の語らいが楽しいと好評を得ている。 一方、「高砂大学」や趣味講座など参加者の減少が見られ、見直しと工夫が必要となっている。
		○ ある程度の効果が得られている	
		効果があまり得られていない	

6. 今後の対応策

方向性	拡充	○ 継続	縮小	見直し	休廃止
今後の対応	教室や講座の内容を見直しながらも継続していく。意欲的な参加のためにも意見を十分聞きながら推進する。地区最大のイベント、スポーツフェスティバルを実施し地区民の交流を促進していく。				

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課北部公民館

事務事業名	北部公民館事業費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	04	北部公民館費

2. 実施計画との関係

柱	地域力	基本方針	地域を支える人材の育成
施策コード	1-A-2-1 一人一人が町を好きになる取組み		
プロジェクト	みんなが主役で愛する地域をつくるプロジェクト		
施策の目的	町民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。		

3. 事業の実施状況

・公民館運営審議会(委員5人) 会議2回 ・わかば家庭教育学級「大きく育てよう!感謝の心と元気な体」 3回 延べ164人参加 ・少年教室「子ども育成会事業」(交通安全教室・グラウンドゴルフ教室・うどん打ち教室) 3回 延べ167人参加 ・少年教室「ドキドキ探検隊」 隊員16人、達人クラブ27人 里山探検・里芋定植・化石採り・川遊び・夏、冬キャンプ等 8回 延べ隊員188人、延べ達人91人参加 ・高齢者学級「睦大学」 4回 660人参加 ・一般教室「パソコン教室」2/22~2/25 4日間 44人参加 ・成人教室「蕎麦打ち教室」 4回 24人参加 ・女性教室「お惣菜づくり」 1回 41人参加 ・保・小・公連絡協議会 24人参加 ・自治公民館連絡協議会総会・館長、主事研修会 28人参加 ・第5回北部地区レクリエーション大会 9/13 秋葉山交遊館周辺、秋葉山グラウンド他 グラウンドゴルフ、ソフトボール、ビーチボールバレー、輪投げ 550人参加 ・第45回朝日町芸術文化祭(秋葉山交遊館会場) 500人来場

4. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	362	補正予算額		合計	362	決算額	194
-------	-----	-------	--	----	-----	-----	-----

5. 事業の評価

評価の視点(評価項目)		評価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民のニーズに対応しているか	○ 適切に対応している	地域に合った事業を探しながら、また、世代毎に必要な学習や時代の要請にあう教室等を開催し、町民のニーズに答えられるよう目的達成に向けた取り組みを行う。
		概ね対応できている	
		ほとんど対応できていない	
有効性	投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか	十分効果が得られている	講座・教室によって好評を得ているものもあるが、全体的に参加者の減少も見られる。講座開催を待ち望んでいる町民もあり、成果は得ている。内容に工夫を凝らしながら事業に取り組み、参加人数の少ない講座は見直しも必要となっている。
		○ ある程度の効果が得られている	
		効果があまり得られていない	

6. 今後の対応策

方向性	拡充	○ 継続	縮小	見直し	休廃止
今後の対応	講座・教室の内容を見直しながら、指導者を育て自主的な学習活動ができるように住民と共に取り組んでいく。				

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	文化振興費
-------	-------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	06	文化振興費

2. 実施計画との関係

柱	地域力	基本方針	地域を支える人材の育成
施策コード	1-A-2-1 一人一人が町を好きになる取組み		
プロジェクト	みんなが主役で愛する地域をつくるプロジェクト		
施策の目的	地域を活かした朝日町らしい芸術文化活動がたかまる。		

3. 事業の実施状況

- ・町芸術文化協議会支援事業（37 団体、3 個人）
11/1～3 第 45 回芸術文化祭、各団体の支援事業
- ・創遊館ギャラリー事業 展示 10 回
- ・ホール事業 2/14「オペラ喜歌劇・こうもり」実施 委託料 1,000 千円
- ・オペラ入門講座 5 回シリーズ
- ・ひめさゆり俳句 1,131 句（557 人）

4. 予算額・決算額

（単位：千円 千円未満切上げ）

当初予算額	2,050	補正予算額		合計	2050	決算額	1,664
-------	-------	-------	--	----	------	-----	-------

5. 事業の評価

評価の視点（評価項目）		評 価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民のニーズに対応しているか	○ 適切に対応している	町民の自発的な芸術文化活動の環境を充実させるための支援や創遊館ホール機能を生かし本格的な芸術鑑賞等の機会を提供していく。
		概ね対応できている	
		ほとんど対応できていない	
有効性	投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか	○ 十分効果が得られている	ギャラリー展示は、町民発表の場として十分に活用された。 町の人材を活かしたオペラの町づくり活動に取り組み、馴染みの薄いオペラへの理解が広がった。
		ある程度の効果が得られている	
		効果があまり得られていない	

6. 今後の対応策

方向性	拡充	○ 継続	縮小	見直し	休廃止
今後の対応	創遊館 10 周年を迎え記念事業に取り組む。オペラの町づくりを進める。ギャラリーの活用を図る。ホール事業に対する町民のニーズを把握し、当年度は次年度の事業計画を立てるという早めの対応が必要である。ひめさゆり俳句事業は、学校教育係に移管する。				

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	社会教育総務費
-------	---------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	01	社会教育総務費

2. 実施計画との関係

柱	地域力	基本方針	地域を支える人材の育成
施策コード	1-A-2-2 集い学び合う交流環境づくり		
プロジェクト	みんなが主役で愛する地域をつくるプロジェクト		
施策の目的	生涯学習の振興を図る。		

3. 事業の実施状況

- ・社会教育委員 7 人
- ・社会教育委員会の開催（2 回）6/25、3/24
- ・東北地区及び県社会教育研究大会兼県公民館大会参加（米沢市）10/22-23（9 人）
- ・社会教育機関負担金支出(西視協、社教連、県社教大会、山響)
- ・社会教育団体活動補助金支出
各地区子供会運営補助（中部 75 千円、西部 62 千円、北部 62 千円）、朝日町連合婦人会 45 千円

4. 予算額・決算額

（単位：千円 千円未満切上げ）

当初予算額	939	補正予算額		合計	939	決算額	825
-------	-----	-------	--	----	-----	-----	-----

5. 事業の評価

評価の視点（評価項目）		評 価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民のニーズに対応しているか	○ 適切に対応している	委員研修や各機関・団体への助成などを行い生涯学習の振興を図る。
		概ね対応できている	
		ほとんど対応できていない	
有効性	投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか	○ 十分効果が得られている	社会教育委員会の開催、負担金、社会教育団体活動補助金などについて適切に執行した。
		ある程度の効果が得られている	
		効果があまり得られていない	

6. 今後の対応策

方向性	拡充 ○ 継続 縮小 見直し 休廃止
今後の対応	子どもを巡る地域の状況をはじめ、生涯学習の充実を図る上で社会教育委員の役割は重要である。 西村山視聴覚教育協議会のあり方について見直し協議する。 連合婦人会への活動補助金額について検討が必要である。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	自治公民館整備事業費
-------	------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	02	中央公民館費

2. 実施計画との関係

柱	地域力	基本方針	地域を支える人材の育成
施策コード	1-A-2-2 集い学び合う交流環境づくり		
プロジェクト	みんなが主役で愛する地域をつくるプロジェクト		
施策の目的	生涯学習の振興を図る。		

3. 事業の実施状況

・前田沢公民館建設用地の取得 用地取得費 500 千円（地区にて用地造成済み） ・上郷公民館屋根改修 事業費 2,000 千円 補助金 600 千円
--

4. 予算額・決算額

(単位：千円 千円未満切上げ)

当初予算額	600	補正予算額	500	合計	1,100	決算額	1,100
-------	-----	-------	-----	----	-------	-----	-------

5. 事業の評価

評価の視点（評価項目）		評 価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民のニーズに対応しているか	○ 適切に対応している	自治公民館は、住民にとって生涯学習や地域づくりを行う最も身近な拠点施設。施設整備の支援を行う。
		概ね対応できている	
		ほとんど対応できていない	
有効性	投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか	○ 十分効果が得られている	前田沢公民館建設用地取得や上郷公民館屋根改修事業補助を行い、生涯学習活動の場を整備する取り組みとなった。
		ある程度の効果が得られている	
		効果があまり得られていない	

6. 今後の対応策

方向性	拡充 ○ 継続 縮小 ○ 見直し 休廃止
今後の対応	(継続)H22は前田沢公民館の新築工事を実施する。引き続き、各自治公民館の施設整備支援を行っていく。 (見直し)町自治公民館建築事業補助金交付規程を実情にあったものに見直す。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	図書館費
-------	------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	05	図書館費

2. 実施計画との関係

柱	地域力	基本方針	地域を支える人材の育成
施策コード	1-A-2-2 集い学び合う交流環境づくり		
プロジェクト	みんなが主役で愛する地域をつくるプロジェクト		
施策の目的	町民が学習や生活に役立つ情報や知識を得ることができ、楽しい生活の場とするため図書館経営を行なう。		

3. 事業の実施状況

・創遊会(4人)へ業務委託 委託料3,441千円 ・貸出冊数 21,058冊(利用登録者3,070人、うち町外363人) 1日平均貸出 68.4冊、1日平均利用者数 22.1人 ・図書資料収集 購入冊数 986冊(雑誌含む) 購入金額1,252千円 ・移動図書事業(大谷小) 5月～2月(月2回×9月)、利用児童数89人 ・団体貸出 ふたば保育園、りんごっこ ・おはなし会事業 おはなし会「ぶなの実」と共催 10回開催(第2土曜) ・ブックスタート事業 年間5回(健康福祉課と連携)

4. 予算額・決算額

(単位：千円 千円未満切上げ)

当初予算額	5,396	補正予算額		合計	5,396	決算額	5,332
-------	-------	-------	--	----	-------	-----	-------

5. 事業の評価

評価の視点(評価項目)		評価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民のニーズに対応しているか	○ 適切に対応している	町民が学習や生活に役立つ知識を得ることができ、潤いのある生活の場となるよう支援する。
		概ね対応できている	
		ほとんど対応できていない	
有効性	投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか	○ 十分効果が得られている	ブックテーマコーナーを毎月設け利用促進を図った。おはなし会事業で、子どもに本への興味を持たせ触れさせる場を作った。図書館を身近に感じて貰うために移動図書や団体貸出を実施した。子育てを支援するコーナーを設置した。
		ある程度の効果が得られている	
		効果があまり得られていない	

6. 今後の対応策

方向性	拡充 ○ 継続 縮小 見直し 休廃止
今後の対応	図書館の利用者数を増やしていくことや本が好きな人を増やす活動を進める。図書購入のあり方について検討していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	創遊館管理費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	07	創遊館費

2. 実施計画との関係

柱	地域力	基本方針	地域を支える人材の育成
施策コード	1-A-2-2 集い学び合う交流環境づくり		
プロジェクト	みんなが主役で愛する地域をつくるプロジェクト		
施策の目的	町民が安全で利用しやすい施設の環境整備を図る。		

3. 事業の実施状況

・夜間・休日管理人の配置 ・創遊館内外の環境整備と安全確保 ・創遊館の貸し出し 利用団体 1,471 件、利用人数 31,501 人 ・各種設備・機器等の保守管理委託 清掃管理 2,776 千円、空調・設備機器保守点検 1,583 千円、舞台機構設備保守点検 473 千円 エレベーター点検 233 千円、自動ドア保守点検 113 千円 ほか
--

4. 予算額・決算額

(単位：千円 千円未満切上げ)

当初予算額	26,515	補正予算額		合計	26,515	決算額	20,690
-------	--------	-------	--	----	--------	-----	--------

5. 事業の評価

評価の視点(評価項目)		評 価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民のニーズに対応しているか	○ 適切に対応している	身近な生涯学習施設として、町民が利用しやすいように施設管理を行う。
		概ね対応できている	
		ほとんど対応できていない	
有効性	投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか	○ 十分効果が得られている	町民の学習意欲に応える安全で利用しやすい施設管理に努めた。 管理人を配置し、夜間や祝祭日にも利用しやすい環境を提供し、設備等業務委託を行い適切な管理業務を行った。
		ある程度の効果が得られている	
		効果があまり得られていない	

6. 今後の対応策

方向性	拡充 ○ 継続 縮小 見直し 休廃止
今後の対応	築10年が経過し、機械器具等の不具合が懸念される。適切な管理を行い利用環境の維持に努めていく。夜間及び休日の貸館等管理業務については、行革プランに基づきシルバー人材センターへ委託する。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課西部公民館

事務事業名	西部公民館管理費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	03	西部公民館費

2. 実施計画との関係

柱	地域力	基本方針	地域を支える人材の育成
施策コード	1-A-2-2 集い学び合う交流環境づくり		
プロジェクト	みんなが主役で愛する地域をつくるプロジェクト		
施策の目的	町民が安全で利用しやすい施設の環境整備を図る。		

3. 事業の実施状況

・西部公民館（平成4年2月完成）、健康増進センター（体育館：昭和60年8月完成）、西部地区総合運動場（グラウンド：昭和62年3月完成）、熊ノ山農村公園（芝生公園：平成15年3月完成）、西部地区コミュニティ広場（旧公民館跡地：平成7年11月完成）の5施設の管理 ・屋内施設：随時の清掃、維持 ・屋外施設：芝刈りや除草、管理を行っているが、雪囲いや雑草地の草刈り作業などについては一部、シルバ人材センターに委託している。熊ノ山農村公園の芝生は、グラウンドゴルフを楽しむ地元愛好会の皆さんから草取り作業など協力。 ・年間利用者：西部公民館 3,877人、健康増進センター 3,417人、西部地区総合運動場 2,193人、熊ノ山農村公園 7,138人、計 16,625人
--

4. 予算額・決算額

（単位：千円 千円未満切上げ）

当初予算額	2,407	補正予算額	4,715	合計	7,122	決算額	2,018
-------	-------	-------	-------	----	-------	-----	-------

きめ細やかな臨時交付金事業分 5,000千円を平成22年度へ繰越明許

5. 事業の評価

評価の視点（評価項目）		評 価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民のニーズに対応しているか	○ 適切に対応している	西部地区の生涯学習拠点施設として、スポーツや学習で地区民が利用しやすいように施設管理を行う。
		概ね対応できている	
		ほとんど対応できていない	
有効性	投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか	○ 十分効果が得られている	地区民や団体の自発的なボランティアによる協力を頂きながら、適切な管理業務を行った。 特に、施設の特徴となっている農村公園グラウンドゴルフ場の利用が多い。
		ある程度の効果が得られている	
		効果があまり得られていない	

6. 今後の対応策

方向性	拡充 ○ 継続 縮小 見直し 休廃止
今後の対応	施設の老朽化に伴い、緊急性のあるものから計画的に改修整備し安全安心な利用しやすい環境をつくっていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課北部公民館

事務事業名	北部公民館管理費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	04	北部公民館費

2. 実施計画との関係

柱	地域力	基本方針	地域を支える人材の育成
施策コード	1-A-2-2 集い学び合う交流環境づくり		
プロジェクト	みんなが主役で愛する地域をつくるプロジェクト		
施策の目的	町民が安全で利用しやすい施設の環境整備を図る。		

3. 事業の実施状況

・秋葉山交遊館、北部体育館、大谷地区運動広場の除草作業 2回シルバー人材センターに委託 ・その他の除草作業・管理作業は職員等で実施 ・施設の雪囲い及び雪囲いはずしもシルバー人材センターに委託 ・秋葉山交遊館：屋外時計の修理、キュービクル内モニター交換工事 ・秋葉山交遊館、北部体育館：消火器修理及び誘導灯バッテリー交換 ・秋葉山交遊館の芝生張り：ボランティアにより実施 ・随時、遊具の点検、ハチの巣を3箇所撤去 ・利用状況：秋葉山交遊館・ときめき体験館 6,676人、北部体育館 2,413人、秋葉山グラウンド 690人、多目的広場2,591人、計13,795人
--

4. 予算額・決算額

(単位：千円 千円未満切上げ)

当初予算額	4,251	補正予算額	200	合計	4,451	決算額	3,361
-------	-------	-------	-----	----	-------	-----	-------

5. 事業の評価

評価の視点(評価項目)		評 価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民のニーズに対応しているか	○ 適切に対応している	北部地区の生涯学習拠点施設として、スポーツや学習で地区民が利用しやすいように施設管理を行う。
		概ね対応できている	
		ほとんど対応できていない	
有効性	投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか	○ 十分効果が得られている	シルバー人材センター等を利用し、一部ボランティアによる協力を頂きながら、広い施設の管理を行った。
		ある程度の効果が得られている	
		効果があまり得られていない	

6. 今後の対応策

方向性	拡充 ○ 継続 縮小 見直し 休廃止
今後の対応	施設の老朽化に伴い、緊急性のあるものから計画的に改修整備し安全安心な利用しやすい環境をつくっていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	保健体育総務費
-------	---------

予算 科目	款	10	教育費
	項	05	保健体育費
	目	01	保健体育総務費

2. 実施計画との関係

柱	地域力	基本方針	地域を支える人材の育成
施策コード	1-A-2-2 集い学び合う交流環境づくり		
プロジェクト	みんなが主役で愛する地域をつくるプロジェクト		
施策の目的	町民が生涯スポーツ活動に取り組める。		

3. 事業の実施状況

・体育指導委員活動(委員 10 人) ・町民登山、町民グラウンドゴルフ大会など町体育協会主催各種大会への支援 ・アップル町民駅伝、県縦断駅伝ほか各駅伝競走大会の支援 ・スポーツ少年団の育成 (大谷剣道 16 人、大谷ジュニア剣道 13 人、自然観スキー 10 人、朝日町柔道 17 人、朝日卓球 13 人、宮宿剣道 15 人、宮宿女子ミニバスケ 11 人、朝日野球 26 人、宮宿男子バスケ 13 人、計 9 団体 134 人) ・各種スポーツ大会開催の情報提供

4. 予算額・決算額

(単位：千円 千円未満切上げ)

当初予算額	2,117	補正予算額		合計	2,117	決算額	1,678
-------	-------	-------	--	----	-------	-----	-------

5. 事業の評価

評価の視点(評価項目)		評 価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民のニーズに対応しているか	○ 適切に対応している	町民が生涯スポーツ活動に取り組める環境を整える。
		概ね対応できている	
		ほとんど対応できていない	
有効性	投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか	○ 十分効果が得られている	体育指導委員を配置し、体協主催の各種大会、スポ少活動、総合型地域スポーツクラブ立ち上げの支援を行い、町民一人 1 スポーツ、生涯スポーツの町づくりに取り組んだ。
		ある程度の効果が得られている	
		効果があまり得られていない	

6. 今後の対応策

方向性	拡充 ○ 継続 縮小 見直し 休廃止
今後の対応	一人 1 スポーツ、生涯スポーツで健康な人づくりを目指した取り組みを行っていく。 スポーツ少年団の補助をスポーツ振興基金運営費に位置付けたい。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	体育施設管理費
-------	---------

予算 科目	款	10	教育費
	項	05	保健体育費
	目	02	体育施設費

2. 実施計画との関係

柱	地域力	基本方針	地域を支える人材の育成
施策コード	1-A-2-2 集い学び合う交流環境づくり		
プロジェクト	みんなが主役で愛する地域をつくるプロジェクト		
施策の目的	町民が利用しやすい施設運営をする。		

3. 事業の実施状況

町民体育館、緑が丘公園町民プール、夜間照明等の管理 ・町民体育館(利用者 9,584 人)、緑が丘公園町民プール(7/19～8/17 利用数 1,678 人)、夜間照明等の管理(利用日数 32 日) ・主な工事 ・町民体育館屋根改修 12,449 千円 ・外壁モルタル補修 677 千円 ・壁式ガードクッション設置(朝日中グラウンド 879 千円・緑が丘公園 523 千円) ・町民プール 3 号機ポンプ羽根車取替 315 千円
--

4. 予算額・決算額

(単位：千円 千円未満切上げ)

当初予算額	9,001	補正予算額	16,434	合計	25,435	決算額	23,119
-------	-------	-------	--------	----	--------	-----	--------

きめ細やかな臨時交付金事業分 1,350 千円を平成 22 年度へ繰越明許

5. 事業の評価

評価の視点(評価項目)		評 価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民のニーズに対応しているか	○ 適切に対応している	身近な生涯スポーツ施設として、町民が利用しやすいように施設管理を行う。
		概ね対応できている	
		ほとんど対応できていない	
有効性	投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか	○ 十分効果が得られている	町民体育館管理人、町民プール監視員を配置し、適切な管理業務を行った。
		ある程度の効果が得られている	
		効果があまり得られていない	

6. 今後の対応策

方向性	○ 拡充 継続 縮小 見直し 休廃止
今後の対応	体育館管理については、行革プランに基づきシルバー人材センターへ委託する。新たに、立木・水本・送橋・上郷体育館を管理する。町民体育館の耐震性を含め今後のあり方について検討を要する。プールは 1 ヶ月のみのオープンであり、今後のあり方について検討を要する。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	スポーツ振興基金運営費
-------	-------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	05	保健体育費
	目	03	スポーツ振興基金運営費

2. 実施計画との関係

柱	地域力	基本方針	地域を支える人材の育成
施策コード	1-A-2-2 集い学び合う交流環境づくり		
プロジェクト	みんなが主役で愛する地域をつくるプロジェクト		
施策の目的	町民の自主的なスポーツ活動を支援する。		

3. 事業の実施状況

・基金の運用状況 20年度末現在高25,563千円 21年度取崩し額1,500千円 21年度末現在高24,063千円 運用益金(利子)62,996円は一般会計へ繰入れ ・全国大会に出場する競技成績優秀者への激励金の交付(17個人、3団体) 375千円 ・アップル町民駅伝競走大会出場チームへの支援(大会は新型インフルエンザにより中止) 275千円 ・町体育協会への各種スポーツ大会の運営委託 850千円 (剣道連盟30人、柔道連盟16人、野球連盟169人、卓球協会17人、バレーボール協会15人、マラソンクラブ15人、バスケットボール部12人、バドミントン愛好会10人、山岳会30人、居合道部7人、スキークラブ25人、ゲートボール協会36人、ソフトボール協会100人、グラウンド・ゴルフ協会96人、インディアカ協会15人、ゴルフクラブ13人、計16団体606人) ・総合型地域スポーツクラブ設立支援 補助金1,289千円
--

4. 予算額・決算額

(単位：千円 千円未満切上げ)

当初予算額	3,010	補正予算額		合計	3,010	決算額	2,795
-------	-------	-------	--	----	-------	-----	-------

5. 事業の評価

評価の視点(評価項目)		評価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民のニーズに対応しているか	○ 適切に対応している	町のスポーツ振興とスポーツ水準の向上を図るため基金の運用を行う。
		概ね対応できている	
		ほとんど対応できていない	
有効性	投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか	○ 十分効果が得られている	競技成績優秀者の激励、体協事業への運営委託、朝日ふれあいスポーツクラブの補助を行い、スポーツの振興に努めた。
		ある程度の効果が得られている	
		効果があまり得られていない	

6. 今後の対応策

方向性	拡充 ○ 継続 縮小 見直し 休廃止
今後の対応	基金を毎年取り崩していることから原資が減少しており、今後のあり方について検討が必要である。保健体育総務費で対応していたスポーツ少年団の補助を位置付け直す。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	教育委員会費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	01	教育総務費
	目	01	教育委員会費

2. 実施計画との関係

柱	地域力	基本方針	未来を担う子ども達の教育環境づくり
施策コード	1-B-1-1 応用力のある確かな学力を育てる		
プロジェクト	みんなで育てる子ども成長プロジェクト		
施策の目的	教育委員会定例会を原則月1回開催し、学校教育、社会教育の課題を協議、調整、意思統一を図る。 学校訪問を通して、常に教育の現場を把握し適切な指導助言を行う。		

3. 事業の実施状況

・教育委員 5人 ・定例教育委員会 12回開催、臨時会 1回開催、附議事件 13件 ・西村山市町教委連絡協議会総会・研修会（大江町） 7/24 ・山形県市町村教育委員大会 9/2（大石田町） ・各校学校訪問 西小 6/16、宮宿小 6/24、大谷小 6/22、朝日中 6/3 ・各種事業への参加（教職員辞令交付式、入学式、小体連陸上・水泳・スキー記録会、小学校運動会、生涯学習大会、卒業式 他）
--

4. 予算額・決算額

（単位：千円 千円未満切上げ）

当初予算額	1,216	補正予算額		合計	1,216	決算額	1,022
-------	-------	-------	--	----	-------	-----	-------

5. 事業の評価

評価の視点（評価項目）		評 価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民のニーズに対応しているか	○ 適切に対応している	地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき設置している。 定例会資料を事前に配布するなどの改善を図った。
		概ね対応できている	
		ほとんど対応できていない	
有効性	投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか	○ 十分効果が得られている	必要最小限の経費で実施している。
		ある程度の効果が得られている	
		効果があまり得られていない	

6. 今後の対応策

方向性	拡充 ○ 継続 縮小 見直し 休廃止
今後の対応	西村山教育委員協議会が平成22年度は朝日町当番となる。実のある研修会とすべく改善していきたい。 朝日町教育委員会の事業について、何らかの形で町民の声を集約しなければと考えている。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	教育委員会事務局総務費
-------	-------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	01	教育総務費
	目	02	事務局費

2. 実施計画との関係

柱	地域力	基本方針	未来を担う子ども達の教育環境づくり
施策コード	1-B-1-1 応用力のある確かな学力を育てる		
プロジェクト	みんなで育てる子ども成長プロジェクト		
施策の目的	適切な学校運営に必要な各種事務を行う。 第五次朝日町総合発展計画に基づき、学校、家庭、地域のトライアングルパートナーシップによる「自ら未来を切り開くたくましい朝日っ子」をめざし、様々な政策を検討する。		

3. 事業の実施状況

・臨時職員の配置（4/1～9/30）職員の育児休暇のため ・職員一般旅費 ・一般消耗品費、教委ワゴン車燃料費等の需用費 ・西村山中学校体育・文化連盟等各種負担金 ・スクールカウンセラー（県費）を2人配置し、心に問題を抱える生徒（教室に入れない生徒）や不登校児童への対応を図っている。 延べ52日×4時間＝208時間 ・特別支援学校通学者への支援（生活支援経費として） 高等部2人
--

4. 予算額・決算額

（単位：千円 千円未満切上げ）

当初予算額	2,142	補正予算額		合計	2,142	決算額	1,836
-------	-------	-------	--	----	-------	-----	-------

5. 事業の評価

評価の視点（評価項目）		評 価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民のニーズに対応しているか	○ 適切に対応している	事務局の経費と政策事業を展開している。
		概ね対応できている	
		ほとんど対応できていない	
有効性	投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか	○ 十分効果が得られている	事務局運営に最小限必要な経費で実施している。 特別支援学校通学者への生活支援をすることができた。
		ある程度の効果が得られている	
		効果があまり得られていない	

6. 今後の対応策

方向性	○ 拡充 継続 縮小 見直し 廃止
今後の対応	朝日町教育振興計画の策定（平成22年度）とその後の検証、朝日町教育事務点検評価の実施（平成22年度から）により教育行政活性化を図る。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	教育研究所費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	01	教育総務費
	目	03	教育研究所費

2. 実施計画との関係

柱	地域力	基本方針	未来を担う子ども達の教育環境づくり
施策コード	1-B-1-1 応用力のある確かな学力を育てる		
プロジェクト	みんなで育てる子ども成長プロジェクト		
施策の目的	教職員の指導力向上を図る		

3. 事業の実施状況

・教職員の各部会における研修、研究、全体研修 課題研究部会（郷土学習部会 22 人、いのちの教育部会 20 人、情報教育部会 15 人） 校務研究部会（養護教諭部会 5 人、事務職員部会 5 人） 学力向上委員会 教務主任会 5 人 理化センター 理科担当者 5 人 子育て生徒指導部会 21 人 英語研究部会 6 人 ・授業研究委託発表会 9 月 30 日（宮宿小学校）委託費 10 万円 ・標準学力検査の数値は、小学校、中学校ともに 50 の平均値を上回った。学力検査の結果は学力向上委員会で分析・検討を行い、課題を明確にし各校の情報交換を行いながら、日々の学習活動に活かしている。 ・立木研修センターの管理（電気料 314,760 円、水道料 43,340 円、電話料 29,076 円） ・立木研修センターに芸工大卒業生長期利用（通年 3 人、6 ヶ月 1 人）

4. 予算額・決算額

（単位：千円 千円未満切上げ）

当初予算額	1,839	補正予算額		合計	1,839	決算額	1,476
-------	-------	-------	--	----	-------	-----	-------

5. 事業の評価

評価の視点（評価項目）		評 価	評価の理由
必要性	社会情勢や市民のニーズに対応しているか	○ 適切に対応している	新学習指導要領の実施に伴う移行措置への対応や教職員の授業力の向上が強く望まれている。 立木研修センターの必要性が問われた。
		概ね対応できている	
		ほとんど対応できていない	
有効性	投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか	○ 十分効果が得られている	各部門ごとに課題を整理し研究に取り組んでいる。特に新学習指導要領の実施に伴い英語活動推進部会の充実をはかった。
		ある程度の効果が得られている	
		効果があまり得られていない	

6. 今後の対応策

方向性	拡充	○ 継続	縮小	見直し	休廃止
今後の対応	教育研究所の研究機関としての意義は大きいものがある。学社連携を含めて今後も継続していくことが重要である。 立木研修センターを教育研究所所管から切り離し、生涯学習係で管理する（平成 22 年 3 月条例改正）。				

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校教育振興費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	02	教育振興費

2. 実施計画との関係

柱	地域力	基本方針	未来を担う子ども達の教育環境づくり
施策コード	1-B-1-1 応用力のある確かな学力を育てる		
プロジェクト	みんなで育てる子ども成長プロジェクト		
施策の目的	教材の活用により分かりやすい授業が行われ、児童の学習意欲向上を図る。また、情緒障害・知的障害児、要保護・準要保護児童を支援する。		

3. 事業の実施状況

小学校3、児童数366人【22クラス（内特支4クラス）】			
・学力向上（特色ある学校づくりを含む）を各校に委託 委託費 各校280千円			
・教育事情視察研修（各校学習指導担当）秋田県			
・海の子山の子交流事業 宮宿小学校⇄宮城県七ヶ浜町立松ヶ浜小学校 7/18 海の集い（宮城県七ヶ浜町）、2/6 山の集い（朝日町）			
・各校の教材備品及び一般備品の購入 2,962千円			
・芸術鑑賞事業⇄演劇「雨ふり小僧」補助金額 250千円			
・準要保護対象者14人、特殊教育奨励該当者7人			
・特別支援学校通学者への支援（生活支援経費として）2人			
・学習生活指導補助員（宮小1人、西小1人（県費））、生活介助員1人（宮小）に配置			

4. 予算額・決算額

(単位：千円 千円未満切上げ)

当初予算額	11,506	補正予算額	-60	合計	11,446	決算額	8,700
-------	--------	-------	-----	----	--------	-----	-------

5. 事業の評価

評価の視点（評価項目）		評 価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民のニーズに対応しているか	○ 適切に対応している	きめ細かな学習環境の推進のための学習生活補助員の配置、教材・管理備品の補充、特別支援・準要保護児童の支援をしている。また、学力向上・特色ある学校づくりに対し、町経費として適切に対応している。
		概ね対応できている	
		ほとんど対応できていない	
有効性	投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか	○ 十分効果が得られている	学校の実情にあわせた学習環境の充実を図っている。
		ある程度の効果が得られている	
		効果があまり得られていない	

6. 今後の対応策

方向性	拡充 ○ 継続 縮小 見直し 休廃止
今後の対応	引き続き学習生活補助員、介助員を配置し、個々の特性に適切に対応していく。 新学習指導要領の実施に対する学習環境のさらなる充実を図る必要がある。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校教育振興費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	02	教育振興費

2. 実施計画との関係

柱	地域力	基本方針	未来を担う子ども達の教育環境づくり
施策コード	1-B-1-1 応用力のある確かな学力を育てる		
プロジェクト	みんなで育てる子ども成長プロジェクト		
施策の目的	教材の活用により分かりやすい授業が行われ、生徒の学ぶ力を高める。また、特殊教育就学、要保護・準要保護児童を支援する。		

3. 事業の実施状況

朝日中学校 生徒数222人【9クラス（内特支1クラス）】

- ・学力向上（特色ある学校づくりを含めて）委託 66万円
- ・教材備品及び一般備品（生徒用机・椅子購入18組含む）の購入 1,734千円
- ・県大会・東北大会派遣、部活動補助 1,150千円
- ・芸術鑑賞事業→民話劇「人魚の海」補助金額200千円
- ・準要保護対象者6人、特殊教育奨励該当者2人
- ・学習生活指導補助員（町費1人、県費1人）の配置

4. 予算額・決算額

（単位：千円 千円未満切上げ）

当初予算額	7,232	補正予算額	260	合計	7,492	決算額	6,263
-------	-------	-------	-----	----	-------	-----	-------

5. 事業の評価

評価の視点（評価項目）		評 価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民のニーズに対応しているか	○ 適切に対応している	きめ細かな学習環境の推進のための学習生活補助員の配置、教材・管理備品の補充、特別支援・準要保護児童の支援等、また、学力向上・特色ある学校づくりが必要である。
		概ね対応できている	
		ほとんど対応できていない	
有効性	投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか	○ 十分効果が得られている	不登校気味の生徒への指導として、学習生活指導補助員を配置した結果、大きな効果が得られている。 学校に実情にあわせた学習環境の充実をはかっている。
		ある程度の効果が得られている	
		効果があまり得られていない	

6. 今後の対応策

方向性	拡充	○ 継続	縮小	見直し	休廃止
今後の対応	引き続き学習生活指導補助員の配置をしていきたい。 新学習指導要領の実施に対する学習環境のさらなる充実を図る必要がある。				

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	英語指導助手招致事業
-------	------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	02	教育振興費

2. 実施計画との関係

柱	地域力	基本方針	未来を担う子ども達の教育環境づくり
施策コード	1-B-1-1 応用力のある確かな学力を育てる		
プロジェクト	みんなで育てる子ども成長プロジェクト		
施策の目的	小学校における国際理解と英語力の向上を図るとともに、中学校における英語教育（コミュニケーション能力）の充実を図る。		

3. 事業の実施状況

ALTのモラ・マーティは7月でJETとの契約が終了した。平成23年度からの小学校学習指導要領の改訂、平成24年度からの中学校指導要領の改訂により、理数系のほか語学が強化され、特に小学校5・6年は必修教科英語活動となる。従来のJET利用のALTでは不安要素が大きく、町単独でモラ・マーティの招致を行った。期間は平成23年7月まで。モラ・マーティはハロウィンパーティーを企画実施し、国際交流の進展に寄与している。			
---	--	--	--

4. 予算額・決算額

(単位：千円 千円未満切上げ)

当初予算額	4,619	補正予算額	80	合計	4,699	決算額	4,469
-------	-------	-------	----	----	-------	-----	-------

5. 事業の評価

評価の視点（評価項目）		評 価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民のニーズに対応しているか	○ 適切に対応している	児童生徒に対して生の外国語に触れさせることが大切である。 新学習指導要領の実施により、教職員への英語力指導の向上が重要である。
		概ね対応できている	
		ほとんど対応できていない	
有効性 効率性	投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか	○ 十分効果が得られている	モラ・マーティは日本語に堪能で、日本文化にも溶け込み、適切な指導をしている。
		ある程度の効果が得られている	
		効果があまり得られていない	

6. 今後の対応策

方向性	拡充 ○ 継続 縮小 見直し 休廃止
今後の対応	平成23年7月までは現体制で実施。その後についても継続を検討したい。なお、JETや他の事業なども検討していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	青少年健全育成推進事業費
-------	--------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	01	社会教育総務費

2. 実施計画との関係

柱	地域力	基本方針	未来を担う子ども達の教育環境づくり
施策コード	1-B-1-3 地域、家庭の教育力向上への支援		
プロジェクト	みんなで育てる子ども成長プロジェクト		
施策の目的	家庭、学校、地域が一体となった町全体の共通目標を掲げ、町民全体による子育てを推進する。		

3. 事業の実施状況

・青少年健全育成町民会議(委員 30 人)、会議：理事会、総会 7/29 教育研究所教育講演会(後援) 「地域づくりと人づくり - 東京栄えて、地方減ぶ でいいのから」 朝日新聞論説委員 大峯伸之 氏 11/18 青少年健全育成町民大会 「これからの青少年教育」 元文部科学大臣 鈴木恒夫 氏 ・青少年育成推進員活動(委員 7 人)、会議 事業活動補助 ・青少年指導センター(委員 27 人)、会議、街頭指導、研修会 ・生活キャンペーン 標語のぼり旗の作成と設置 11/18 生活キャンペーンの実践報告(保育園、小・中学校)
--

4. 予算額・決算額

(単位：千円 千円未満切上げ)

当初予算額	1,053	補正予算額	300	合計	1,353	決算額	977
-------	-------	-------	-----	----	-------	-----	-----

5. 事業の評価

評価の視点(評価項目)		評 価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民のニーズに対応しているか	○ 適切に対応している	家庭、学校、地域と子どもの生活に係わる各分野の調整や活動支援を行い、町全体で子どもの健全な成長を支える。
		概ね対応できている	
		ほとんど対応できていない	
有効性	投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか	○ 十分効果が得られている	街頭指導や研修、公民館事業を通して非行の未然防止や健全な心を育てる子ども育成団体の活動支援を行った。また、生活キャンペーンの幟を各施設に設置し、啓蒙活動や実践活動に取り組み学社連携による効果を上げた。
		ある程度の効果が得られている	
		効果があまり得られていない	

6. 今後の対応策

方向性	拡充 ○ 継続 縮小 見直し 休廃止
今後の対応	生活キャンペーン関連予算は学校教育係に移し、学校教育分野と社会教育分野で連携しながら取り組んでいく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	就学費
-------	-----

予算 科目	款	10	教育費
	項	01	教育総務費
	目	02	事務局費

2. 実施計画との関係

柱	地域力	基本方針	未来を担う子ども達の教育環境づくり
施策コード	1-B-1-4 安心して教育が受けられるための支援・教育内容に合った施設設備整備		
プロジェクト	みんなで育てる子ども成長プロジェクト		
施策の目的	次年度就学する児童の身体の疾患や、知的発達の度合いを検査する。 健常児であれば小学校普通学級に就学するが、心身に障害があり特別な支援が必要な児童の場合、障害のある児童を対象とした就学相談を受けるよう指導する。健診後、就学先学校を各家庭に通知する。		

3. 事業の実施状況

就学時健診 対象児童 52 人 ・集合検診（歯科、眼科、耳鼻科、視力、聴力、ことば） 10/8 ・内科健診、知能検査 西小 10/13、宮宿小 10/5、大谷小 10/15 就学指導委員会 3 回開催（委員 15 人：学校、保育園、医師、健康福祉課） ・児童の心体及び生活状況を把握し、適正就学に努めている。 第 1 回 H21 事業計画、各校の特別支援教育を必要とする児童生徒について、H22 就学予定児童について 第 2 回 H22 就学予定児童の健診結果について、H22 特別支援教育を必要とする児童生徒について 第 3 回 教育委員会への答申について、H23 就学予定児童について
--

4. 予算額・決算額

(単位：千円 千円未満切上げ)

当初予算額	120	補正予算額		合計	120	決算額	116
-------	-----	-------	--	----	-----	-----	-----

5. 事業の評価

評価の視点（評価項目）		評 価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民のニーズに対応しているか	○ 適切に対応している	就学予定児に対する、法に基づく検診であり、小学校入学のための準備（オリエンテーション）も含まれている。
		概ね対応できている	
		ほとんど対応できていない	
有効性	投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか	○ 十分効果が得られている	就学時健診は、各小中学校の養護教諭、町健康福祉課の保健師の協力によりスムーズな対応ができています。また、就学指導委員会は学校、保育園の関係者を中心にお願ひし適切な対応をしています。
		ある程度の効果が得られている	
		効果があまり得られていない	

6. 今後の対応策

方向性	拡充	継続	縮小	○ 見直し	廃止
今後の対応	小学校入学予定児の検診の予算であり、小学校保健衛生費に統合を検討したい。 内科検診は、保育園の定期検診との重複について検討を要す。				

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	教職員費
-------	------

予算 科目	款	10	教育費
	項	01	教育総務費
	目	02	事務局費

2. 実施計画との関係

柱	地域力	基本方針	未来を担う子ども達の教育環境づくり
施策コード	1-B-1-4 安心して教育が受けられるための支援・教育内容に合った施設設備整備		
プロジェクト	みんなで育てる子ども成長プロジェクト		
施策の目的	教職員の健康管理を行う。		

3. 事業の実施状況

・教職員の健康診断 ・定期健康診断受診者 50 人（対象者 57 人） ・胃検診受診者 38 人（対象者 49 人） ・大腸がん検診受診者 29 人（対象者 29 人） ・精密検査受診者 10 人（該当者 12 人） ※ 受診者数は本事業費で対応した人数です。保険者で実施している人間ドックや健康診断、個人的に健康診断を受診している方を含めると、未受診者はゼロとなります。 ・校長会等への負担金

4. 予算額・決算額

(単位：千円 千円未満切上げ)

当初予算額	895	補正予算額		合計	895	決算額	792
-------	-----	-------	--	----	-----	-----	-----

5. 事業の評価

評価の視点（評価項目）		評 価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民のニーズに対応しているか	○ 適切に対応している	教職員に対する、労働安全衛生法及び学校保健安全法に基づく健診である。
		概ね対応できている	
		ほとんど対応できていない	
有効性	投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか	○ 十分効果が得られている	教職員の健診は、成人病センターで実施しているが、町立病院等他の検診機関での対応もある。
		ある程度の効果が得られている	
		効果があまり得られていない	

6. 今後の対応策

方向性	拡充	継続	縮小	○ 見直し	休廃止
今後の対応	教職員の健診費用と校長会等の負担金であり、健診費用は小中学校の保健衛生費に分割して繰り入れ、校長会等の負担金は事務局総務費に統合を検討したい。				

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校管理費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	01	学校管理費

2. 実施計画との関係

柱	地域力	基本方針	未来を担う子ども達の教育環境づくり
施策コード	1-B-1-4 安心して教育が受けられるための支援・教育内容に合った施設設備整備		
プロジェクト	みんなで育てる子ども成長プロジェクト		
施策の目的	児童の安全確保と適切な学校運営のため適切な維持管理を行う。		

3. 事業の実施状況

建築後の経過年数により老朽化が進んでいる施設があるものの、法令等に基づく各種保守点検の実施や日常点検の充実を図っている。

光熱水費、通信運搬費について、月別状況を各校に配布し節電、節水等を指導している。

リフト点検、ボイラー点検、プール保守点検実施

廃校（旧送橋小、旧水本小、旧上郷小、旧大沼分校）の管理

維持費として、電気料 1,318,288 円、水道料 152,050 円、電話料 30,976 円

4. 予算額・決算額

(単位：千円 千円未満切上げ)

当初予算額	21,093	補正予算額		合計	21,093	決算額	16,739
-------	--------	-------	--	----	--------	-----	--------

5. 事業の評価

評価の視点（評価項目）		評 価	評価の理由
必要性	社会情勢や市民のニーズに対応しているか	○ 適切に対応している	学校施設の維持管理費用である。
		概ね対応できている	
		ほとんど対応できていない	
有効性	投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか	十分効果が得られている	光熱水費は、各学校に対して定期的に利用状況を報告し、節約をお願いしている。小規模な修繕は学校の判断で対応している。 廃校の維持費用がかかる。
		○ ある程度の効果が得られている	
		効果があまり得られていない	

6. 今後の対応策

方向性	拡充 ○ 継続 縮小 見直し 休廃止
今後の対応	引き続き、安全・安心で快適な施設となるよう管理を行っていく。 廃校の活用・処分の早期対応をする必要がある。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校管理費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	01	学校管理費

2. 実施計画との関係

柱	地域力	基本方針	未来を担う子ども達の教育環境づくり
施策コード	1-B-1-4 安心して教育が受けられるための支援・教育内容に合った施設設備整備		
プロジェクト	みんなで育てる子ども成長プロジェクト		
施策の目的	生徒の安全確保と適切な学校運営のため適切な維持管理を行う。		

3. 事業の実施状況

建築後の経過年数により老朽化が進んでいるものの法令等に基づく各種保守点検の実施や日常点検の充実を図った。光熱水費、通信運搬費について、月別状況を配布し節電、節水を指導した。臨時職員（事務補助）の配置した。

4. 予算額・決算額

(単位：千円 千円未満切上げ)

当初予算額	9,363	補正予算額		合計	9,363	決算額	8,040
-------	-------	-------	--	----	-------	-----	-------

5. 事業の評価

評価の視点（評価項目）		評 価	評価の理由
必要性	社会情勢や市民のニーズに対応しているか	○ 適切に対応している	学校施設の維持管理費用である。
		概ね対応できている	
		ほとんど対応できていない	
有効性	投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか	○ 十分効果が得られている	光熱水費は、定期的に利用状況を報告し、節約をお願いしている。小規模な修繕は学校の判断で対応している。
		ある程度の効果が得られている	
		効果があまり得られていない	

6. 今後の対応策

方向性	拡充 ○ 継続 縮小 見直し 休廃止
今後の対応	引き続き、安全・安心で快適な施設となるよう管理を行っていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校保健衛生費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	01	学校管理費

2. 実施計画との関係

柱	地域力	基本方針	未来を担う子ども達の教育環境づくり
施策コード	1-B-1-4 安心して教育が受けられるための支援・教育内容に合った施設設備整備		
プロジェクト	みんなで育てる子ども成長プロジェクト		
施策の目的	病疾患の早期発見や子ども自身の健康維持に対する意識を高めることにより、子ども達が元気に学校生活を送れるようにする。		

3. 事業の実施状況

学校医6人、薬剤師2人を委嘱し、各種検診(内科、歯科、耳鼻科、眼科)の実施。 山形県成人病検査センターへ各種検査(ぎょう虫、尿、貧血、心電図)を委託。 学校での集団検診を実施しているが、欠席者に対しては個別健診で対応。 児童の日常における健康管理や安全については、校医の指導の下、養護教諭及び各学校保健委員会を中心に啓発指導を行った。
--

4. 予算額・決算額

(単位：千円 千円未満切上げ)

当初予算額	2,593	補正予算額		合計	2,593	決算額	2,407
-------	-------	-------	--	----	-------	-----	-------

5. 事業の評価

評価の視点(評価項目)		評 価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民のニーズに対応しているか	○ 適切に対応している	児童に対する、学校保健安全法に基づく健診である。
		概ね対応できている	
		ほとんど対応できていない	
有効性	投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか	○ 十分効果が得られている	町医師会、西村山地区医師会との連携により、スムーズな検診が行われている。
		ある程度の効果が得られている	
		効果があまり得られていない	

6. 今後の対応策

方向性	拡充 ○ 継続 縮小 見直し 休廃止
今後の対応	引き続き学校保健安全法に基づき検診を実施する。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校保健衛生費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	01	学校管理費

2. 実施計画との関係

柱	地域力	基本方針	未来を担う子ども達の教育環境づくり
施策コード	1-B-1-4 安心して教育が受けられるための支援・教育内容に合った施設設備整備		
プロジェクト	みんなで育てる子ども成長プロジェクト		
施策の目的	病疾患の早期発見や生徒自身の健康維持に対する意識を高めることにより、生徒達が元気に学校生活を送れるようにする。		

3. 事業の実施状況

学校医4人、薬剤師1人を委嘱し、各種検診(内科、歯科、耳鼻科、眼科)の実施。 山形県成人病検査センターへ各種検査(尿、貧血、心電図)を委託。 学校での集団検診を実施しているが、欠席者に対しては個別健診で対応。 生徒の日常における健康管理や安全については、校医の指導の下、養護教諭及び学校保健委員会を中心に啓発指導を行った。
--

4. 予算額・決算額

(単位：千円 千円未満切上げ)

当初予算額	1564	補正予算額		合計	1564	決算額	1380
-------	------	-------	--	----	------	-----	------

5. 事業の評価

評価の視点(評価項目)		評 価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民のニーズに対応しているか	○ 適切に対応している	生徒に対する、学校保健安全法に基づく健診である。
		概ね対応できている	
		ほとんど対応できていない	
有効性	投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか	○ 十分効果が得られている	町医師会、西村山地区医師会との連携により、スムーズな検診が行われている。
		ある程度の効果が得られている	
		効果があまり得られていない	

6. 今後の対応策

方向性	拡充 ○ 継続 縮小 見直し 休廃止
今後の対応	引き続き学校保健安全法に基づき検診を実施する。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校整備事業費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	01	学校管理費

2. 実施計画との関係

柱	地域力	基本方針	未来を担う子ども達の教育環境づくり
施策コード	1-B-1-4 安心して教育が受けられるための支援・教育内容に合った施設設備整備		
プロジェクト	みんなで育てる子ども成長プロジェクト		
施策の目的	安全で安心して授業が受けられる施設の整備を図る。		

3. 事業の実施状況

・西五百川小学校校舎耐震補強工事 工事管理業務 1,260 千円、工事請負費 36,428 千円 ・旧立木小 石油温風機交換設置工事 10 千円、屋根・石油温風機修繕 62 千円 ・旧上郷小 鍵修繕 13 千円 ・西小 バスケットボール板交換工事 231 千円、ベントキャップ 交換 74 千円、送風機交換 67 千円 ・宮小 プールろ過装置修繕 788 千円、調理室改修工事 630 千円、衛生器具修繕工事 3,045 千円、 FF石油温風機移設工事 74 千円、業務用冷蔵庫修理 21 千円、浄化槽ベルト修繕 4 千円 ・大谷小 光工事 28 千円、案内看板設置工事 154 千円、 ・西小・宮小 エアコン設備工事 3,045 千円 ・全校 校務用コンピュータ 41 台設置 3,938 千円

4. 予算額・決算額

(単位：千円 千円未満切上げ)

当初予算額	5,435	補正予算額	55,546	合計	60,981	決算額	50,882
-------	-------	-------	--------	----	--------	-----	--------

きめ細やかな臨時交付金事業分 4,200 千円を平成 22 年度へ繰越明許。

5. 事業の評価

評価の視点(評価項目)		評 価	評価の理由
必要性	社会情勢や市民のニーズに対応しているか	○ 適切に対応している	安全・安心な学校維持のため、緊急性の高いものから修繕・改修を行っている。
		概ね対応できている	
		ほとんど対応できていない	
有効性	投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか	○ 十分効果が得られている	不具合の状況について、専門家に確認の上整備方法を決定している。発注は、財務規則に基づき、入札、見積り合せ等により行っている。
		ある程度の効果が得られている	
		効果があまり得られていない	

6. 今後の対応策

方向性	拡充 ○ 継続 縮小 見直し 休廃止
今後の対応	引き続き、安全・安心で快適な施設となるよう整備を行っていく。 耐震については、校舎の安全は確保したが、宮宿小学校及び西五百川小学校の体育館の耐力度が基準値以下のため、計画的に整備する必要がある。宮宿小学校体育館は、平成 22 年度に実施設計、平成 23 年度に改築の予定である。 小学校管理費へ統合を検討する。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校整備事業費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	01	学校管理費

2. 実施計画との関係

柱	地域力	基本方針	未来を担う子ども達の教育環境づくり
施策コード	1-B-1-4 安心して教育が受けられるための支援・教育内容に合った施設設備整備		
プロジェクト	みんなで育てる子ども成長プロジェクト		
施策の目的	安全で安心して授業が受けられる施設の整備を図る。		

3. 事業の実施状況

- ・直接授業に支障を及ぼす箇所や生徒に危険を及ぼす部分の工事箇所を優先して整備している。
- ・エアコン設置工事 609 千円、屋内運動場床改修工事 11,183 千円
- ・耐震診断業務委託 11,393 千円、耐震補強詳細設計業務委託 11,183 千円、給水管調査委託 50 千円
- ・校務用コンピュータ 20 台設置 1,732 千円

4. 予算額・決算額

(単位：千円 千円未満切上げ)

当初予算額	12,060	補正予算額	36,753	合計	48,813	決算額	27,189
-------	--------	-------	--------	----	--------	-----	--------

耐震補強実施設計分 11,200 千円及びきめ細やかな臨時交付金事業分 7,200 千円の
計 18,400 千円を平成 22 年度へ繰越明許。

5. 事業の評価

評価の視点（評価項目）		評 価	評価の理由
必要性	社会情勢や市民のニーズに対応しているか	○ 適切に対応している	安全・安心な学校維持のため、緊急性の高いものから修繕・改修を行っている。
		概ね対応できている	
		ほとんど対応できていない	
有効性	投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか	○ 十分効果が得られている	不具合の状況について、専門家に確認の上整備方法を決定している。発注は、財務規則に基づき、入札、見積り合せ等により行っている。
		ある程度の効果が得られている	
		効果があまり得られていない	

6. 今後の対応策

方向性	拡充	○ 継続	縮小	見直し	休廃止
今後の対応	引き続き、安全・安心で快適な施設となるよう整備を行っていく。 中学校管理費へ統合を検討する。				

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校遠距離通学費
-------	-----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	01	学校管理費

2. 実施計画との関係

柱	地域力	基本方針	未来を担う子ども達の教育環境づくり
施策コード	1-B-1-4 安心して教育が受けられるための支援・教育内容に合った施設設備整備		
プロジェクト	みんなで育てる子ども成長プロジェクト		
施策の目的	学校の統合にともない遠距離通学児童に年間を通した安全な通学を確保する。		

3. 事業の実施状況

スクールバス等の利用児童数 80 人 (21.8%) スクールバス 3 台運行 ・三中線 (13 人) 臨時職員 ・上郷線 (18 人) 業者委託 ・和合線 (34 人、内 15 人は往路は中学校スクールバス利用) 業者委託 スクールタクシー運行 (業者委託) ・西小一立木 (復路、往路は町民バス利用) 4 人 ・宮小一雪谷 (往復) 1 人、水本 (復路、往路は中学校スクールバス) 5 人 ・大谷小一川通 (往復) 3 人、大沼 (復路、往路は中学校スクールバス) 2 人

4. 予算額・決算額

(単位：千円 千円未満切上げ)

当初予算額	12,395	補正予算額		合計	12,395	決算額	10,975
-------	--------	-------	--	----	--------	-----	--------

5. 事業の評価

評価の視点 (評価項目)		評 価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民のニーズに対応しているか	○ 適切に対応している	学校統廃合による通学距離の遠距離や、統廃合における覚書等に基づきスクールバス、スクールタクシーの運行を行っている。
		概ね対応できている	
		ほとんど対応できていない	
有効性	投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか	○ 十分効果が得られている	学校との調整により、スムーズな運行が行われている。乗車人数の少ないルートについては、タクシー等の利用で経費の削減を行っている。
		ある程度の効果が得られている	
		効果があまり得られていない	

6. 今後の対応策

方向性	拡充 ○ 継続 縮小 見直し 休廃止
今後の対応	スクールバスの安全運行のため、定期点検や更新を適切に行っていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校スクールバス運行費
-------	--------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	01	学校管理費

2. 実施計画との関係

柱	地域力	基本方針	未来を担う子ども達の教育環境づくり
施策コード	1-B-1-4 安心して教育が受けられるための支援・教育内容に合った施設設備整備		
プロジェクト	みんなで育てる子ども成長プロジェクト		
施策の目的	遠距離通学生徒に年間を通した安全な通学を確保する。		

3. 事業の実施状況

遠距離から通学している生徒 スクールバス 3 台運行 (20 人) 太郎線 (14 人) 臨時職員、大沼線 (4 人) 臨時職員、水本線 (2 人) 業者委託 山交バス (60 人) 北部地区 町営バス (白倉線 21 人、上郷・送橋線 28 人) 運行については、運転手と打合せを随時行い、安全運行に努めている。 車両の老朽化に伴い、安全運行維持の面から部品等の交換など修繕には万全を期している。
--

4. 予算額・決算額

(単位：千円 千円未満切上げ)

当初予算額	25,052	補正予算額		合計	25,052	決算額	21,687
-------	--------	-------	--	----	--------	-----	--------

5. 事業の評価

評価の視点(評価項目)		評 価	評価の理由
必要性	社会情勢や市民のニーズに対応しているか	○ 適切に対応している	通学距離に応じて、スクールバス等の運行を行っている。
		概ね対応できている	
		ほとんど対応できていない	
有効性	投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか	○ 十分効果が得られている	学校との調整により、スムーズな運行が行われている。
		ある程度の効果が得られている	
		効果があまり得られていない	

6. 今後の対応策

方向性	拡充 ○ 継続 縮小 見直し 休廃止
今後の対応	生徒数の推移により、効率的な運行体系を確保していく。 デマンドタクシーの拡大、バスの維持管理や運転手の確保、通学体制など総合的に判断し、運行体制（直営または委託）について検討する。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校給食費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	03	学校給食費

2. 実施計画との関係

柱	地域力	基本方針	未来を担う子ども達の教育環境づくり
施策コード	1-B-1-4 安心して教育が受けられるための支援・教育内容に合った施設設備整備		
プロジェクト	みんなで育てる子ども成長プロジェクト		
施策の目的	バランスのとれた安全で安心な学校給食を提供し、健やかな子どもを育てる。		

3. 事業の実施状況

- ・自校炊飯を全校で実施 418食/日 年間180日～190日
給食の食材は保護者負担 1食265円
- ・週4回米飯、1回パンまたは麺類
- ・献立作成会議4ヶ月に1回開催
- ・町独自の調理師資質向上研修会2回開催(調理師全員参加)
- ・地産地消を目指し毎月19日をふるさと給食の日と定め地元の野菜や果物、農産加工品を提供した。

経費は、光熱水費、調理師代行、検査委託費等である。

4. 予算額・決算額

(単位：千円 千円未満切上げ)

当初予算額	2,895	補正予算額	60	合計	2,955	決算額	2,440
-------	-------	-------	----	----	-------	-----	-------

5. 事業の評価

評価の視点(評価項目)		評 価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民のニーズに対応しているか	○ 適切に対応している	子どもの適正な栄養摂取に大きく貢献している。
		概ね対応できている	
		ほとんど対応できていない	
有効性	投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか	○ 十分効果が得られている	自校給食により地域の食材が活用される。
		ある程度の効果が得られている	
		効果があまり得られていない	

6. 今後の対応策

方向性	拡充 ○ 継続 縮小 見直し 休廃止
今後の対応	第3次朝日町行政改革大綱では、学校給食の民間委託が決定されているが、十分な準備と協議が必要である。当面は現状のまま推移したい。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校給食費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	03	学校給食費

2. 実施計画との関係

柱	地域力	基本方針	未来を担う子ども達の教育環境づくり
施策コード	1-B-1-4 安心して教育が受けられるための支援・教育内容に合った施設設備整備		
プロジェクト	みんなで育てる子ども成長プロジェクト		
施策の目的	バランスのとれた安全で安心な学校給食を提供し、健やかな子どもを育てる。		

3. 事業の実施状況

(有地球耕望に副食給食を委託 給食の食材は保護者負担 食材1食210円+牛乳1本44円91銭 経費は、調理の委託費用である。

4. 予算額・決算額

(単位：千円 千円未満切上げ)

当初予算額	9,673	補正予算額		合計	9,673	決算額	9,254
-------	-------	-------	--	----	-------	-----	-------

5. 事業の評価

評価の視点（評価項目）		評 価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民のニーズに対応しているか	○ 適切に対応している	子どもの適正な栄養摂取に大きく貢献している。
		概ね対応できている	
		ほとんど対応できていない	
有効性	投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか	十分効果が得られている	委託業者の選択がなかなかできない。
		○ ある程度の効果が得られている	
		効果があまり得られていない	

6. 今後の対応策

方向性	拡充 ○ 継続 縮小 見直し 休廃止
今後の対応	当面は業者委託。小学校の給食体系の検討に併せて検討する。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	放課後子どもプラン事業費
-------	--------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	02	中央公民館費

2. 実施計画との関係

柱	定住力	基本方針	みんなで支える子育て環境の整備
施策コード	3-A-1-4 みんなで支える子育て環境の整備・充実		
プロジェクト	みんなで支え合う子どもいっぱいプロジェクト		
施策の目的	放課後の子ども達の安心安全な居場所づくりを行う。また、子どもと大人の交流、大人同士の交流をすることにより、コミュニケーション能力を高め、生き生きした町づくりの一助としていく。		

3. 事業の実施状況

・放課後児童クラブ(りんごっこクラブ)の開設(業務委託) 委託料 2,240 千円 開所日数 251 日 ・放課後子ども教室推進事業の実施 ＜きらきらスクール＞(宮小) 自由あそび 158 日 4,513 人、きらきら教室 9 回 251 人、きらきら探検隊 1 回 52 人 ＜のびのびスクール＞(西小) 4 回 61 人 ＜どきどきスクール＞(大谷小) 6 回 64 人
--

4. 予算額・決算額

(単位：千円 千円未満切上げ)

当初予算額	4,323	補正予算額	-466	合計	3,857	決算額	3,770
-------	-------	-------	------	----	-------	-----	-------

5. 事業の評価

評価の視点 (評価項目)		評 価	評価の理由
必要性	社会情勢や市民のニーズに対応しているか	○ 適切に対応している	放課後における子ども達が、安全安心で健やかに生活できる居場所をつくる。
		概ね対応できている	
		ほとんど対応できていない	
有効性	投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか	○ 十分効果が得られている	文部科学省サイドの「放課後子ども教室」と厚労省サイドの「放課後児童クラブ」を開設し、児童の見守りなどを通し放課後安全安心に過ごせる場所を確保した。
		ある程度の効果が得られている	
		効果があまり得られていない	

6. 今後の対応策

方向性	拡充	継続	○ 縮小	見直し	休廃止
今後の対応	保護者による運営委員会での放課後児童クラブ運営が難しくなったことから、保護者と協議が進められ、町(健康福祉課)に運営主体を移行することとなった。 放課後子ども教室は適切に対応しており、これまで通り教育委員会で行う。				

朝日町教育委員会事務事業点検・評価報告書（平成 21 年度分）
平成 22 年 9 月

朝日町教育委員会 教育文化課
〒990-1442
山形県西村山郡朝日町大字宮宿 2265 番地
TEL 0237-67-2118・3302
FAX 0237-67-3375
Email kyoiku@town.asahi.yamagata.jp
kanri@town.asahi.yamagata.jp
